

水郷佐原

町並み瓦版



発行 小野川と佐原の町並みを考える会
佐原町並み保存会
創刊号 平成六年九月発行

「瓦版」の発刊にあたって

「小野川と佐原の町並みを考える会」(略称 考える会)と「佐原町並み保存会」(略称 保存会)では、地域の皆さんに町並み情報をより早く、正確にお知らせするため、町並み情報誌を発行することとなりました。

これから、皆さんに身近な情報や興味深い情報をわかりやすくお知らせして、町並みへの関心と話題がより身近なものになるよう頑張って発行しますので、よろしくお願ひします。

考える会と保存会では、佐原らしい伝統的な建物を守りながら、きれいで住みやすく活気のあるまちにしていきたいと思っています。

地域の皆さんはもとより、広く市民の皆さんにも、考える会と保存会の「誇りと愛着のもてるまちづくり」に、ご理解とご支援をお願いします。

町並み形成の実例(1)

最近の町並み形成の実例として、伝統的な建物を修理した例をいくつか紹介します。

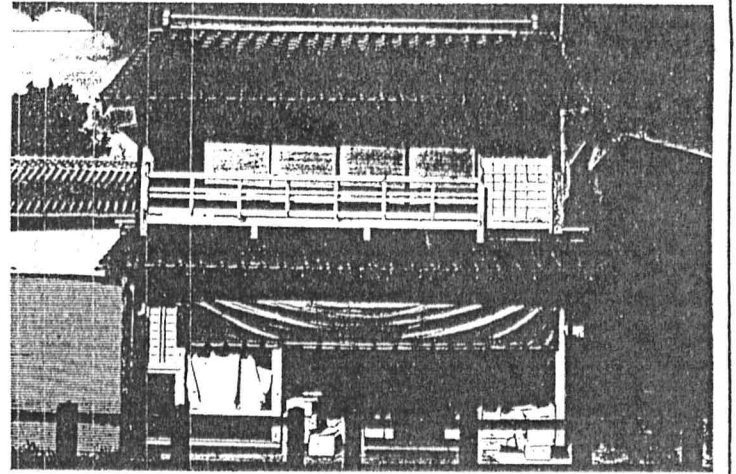
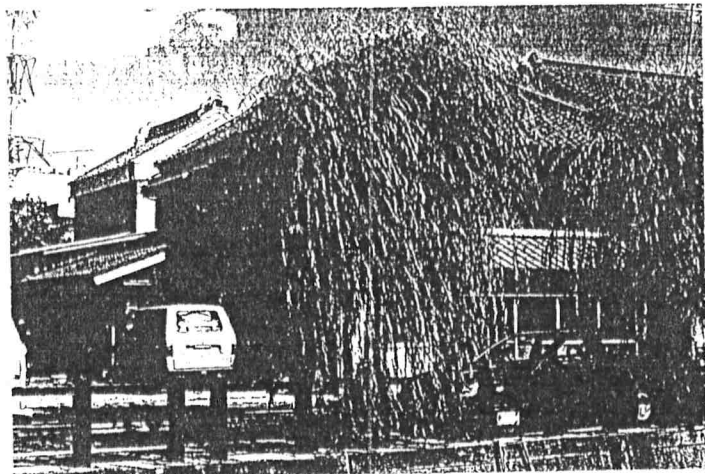
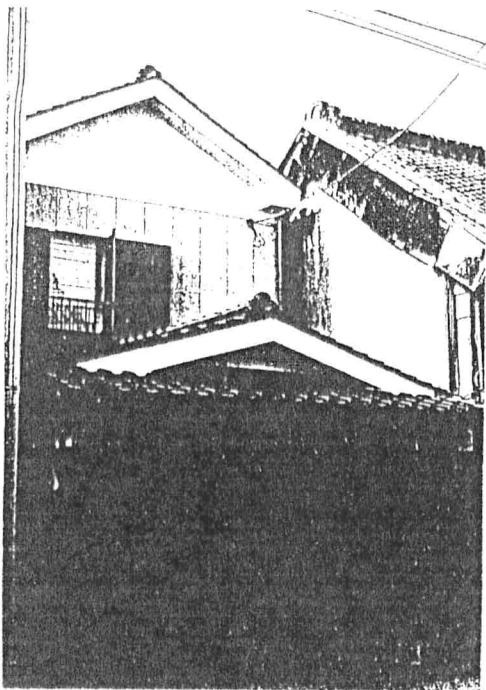
このような建物が増えれば、きっと素晴らしい佐原の町並みができることと思います。

建て替えや大修理のりなど、みんなで協力して、一歩ずつ町並み形成を進めていきましょう。

花富さん(新橋本)では伝統的な建物を復原する形で修理されました。

小林陶器店さん(新上川岸)では伝統的な建物に合わせ外壁を板張りで修理されました。

石井さん(本橋元)では車庫部分を町並みに合わせ新築されました。



花富さん

二階の手すり、戸袋、一階の下屋(庇)、店先、外壁などを元の姿に戻す修理により、伝統的な建物がよみがえりました。

木そのものが全面にあらわれ、歴史的な建物の美しさがきわだちます。

小林さん

下見板張りによる外壁の修理により、伝統的な建物がより引き立つこととなりました。

歴史的な建物も外壁により、かなり感じが違って見えます。

小林さんの場合は、板張りと白漆喰により建物の重厚さが出ています。

石井さん

車庫部分の屋根が道路へ吹きおろされ、軒先がそろった町並み景観がつけられました。

町並み形成の大きな要素である軒先をそろえる一つの例として、町並みへの協力がうかがえます。

本誌の名称の募集

この度の「瓦版」発行にあたり、皆さんに親しめる佐原の町並みにふさわしい誌名を考えて、名付け親になつてくだされませんか。

皆さんが思い浮かべる佐原のイメージにピッタリのタイトルをお寄せ願います。

なお、三菱館に箱を備えてありますので、お近くへおいでの際は、三菱館へお寄り下さい。また、電話による応募は、次ぎの方までお願いします。

清宮利右衛門 〇五二二二六一三

堀井 健 男 〇五二二二七一五

加瀬 順一郎 〇五四一六四二

並木 潤一郎 〇五五〇〇二八

なお、締切日は十月一五日です。

原稿の募集

どなたでもお気軽に、町並みに関するご意見など原稿（文章や写真、イラスト、漫画、俳句など）をお寄せ下さい。

歴史的景観条例

今年の三月に景観条例ができました。

この条例は、地域に住むみんなで建物などの建て方のきまりを守り、佐原らしい伝統的な町並み風景をつくっていくものです。また、伝統的な建物を保存するための修理や、伝統的な建物と同じような形の建物を建てる場合には、市から補助金が出ます。

条例制度の具体的なことについては、今後何回かに分けてお知らせします。

きれいな

まちとは

調和のとれたきれいなまちは、高さや色彩の統一がされた同じような建物が立ち並んでいます。

たとえば、ビル街の中に木造の建物がいくつもあつたり、高さや建物の位置がデコボコしては美しく見えません。

この観点からも、小野川と香取街道沿いに、戦前までの建物が数多く立ち並ぶ佐原の町並みは、みんなから素晴らしいと言われているのです。

佐原の特長な

建物とは

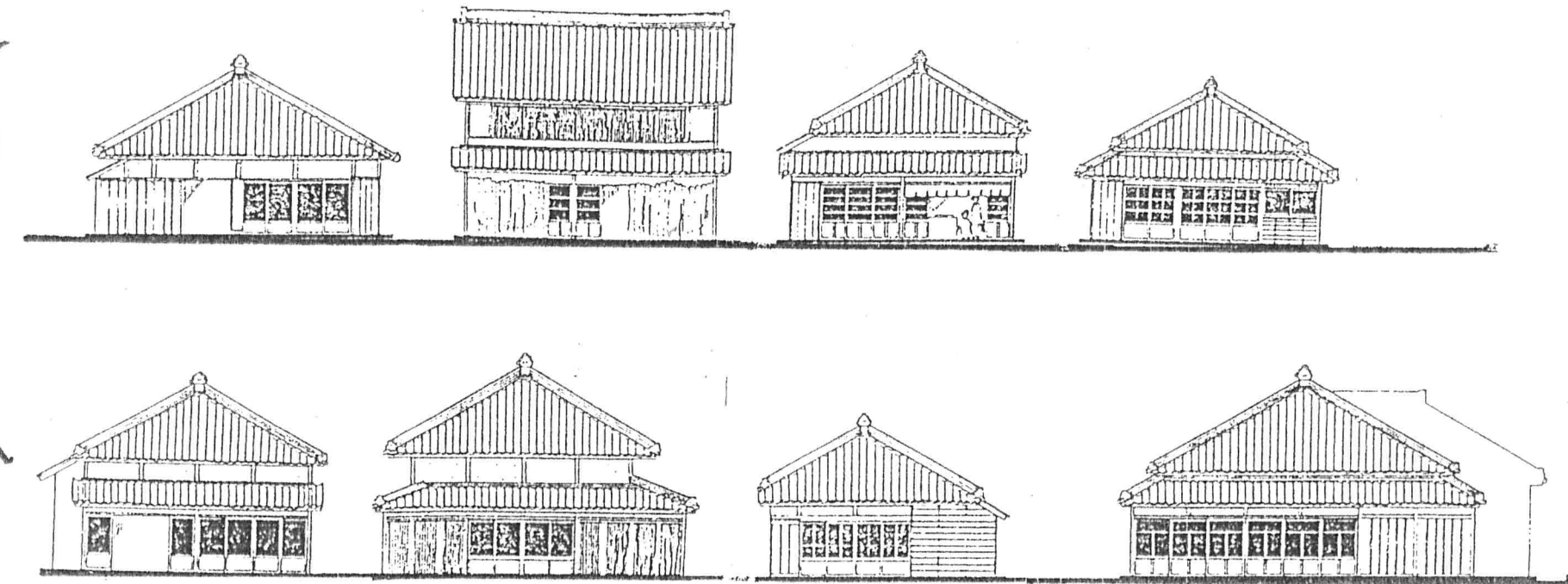
水郷の商都佐原では次のような特長を持つ建物で、佐原の町並みが築きあげられました。

- 1 屋根の形は、切妻や寄棟造り。
- 2 一階や二階の軒先が揃っている。
- 3 二階建ての建物は、二階部分が三尺後退している。
- 4 二階の窓は木製で、一部のものは、手すりや格子を付けてある。
- 5 一階の表構えは木製のガラス引き戸のものが多い。

このほか三菱銀行に代表される近代的な洋風建物が和風の建物と混在しているのが佐原の町並みの特長となっています。



香取街道沿い



川沿いの町並み